



2022
えんだより
ArteKodomotoKi

5

社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼稚園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

お知らせ

- ファミリーデー：クラスごとの開催を予定しています。ふれ合い遊びと屋上園庭を使ったワークショップを行います。5歳ナノ組はパラバルーンも披露しますのでお楽しみに！詳細は後日お知らせ致します。
※感染状況により変更する場合がございます。
- 保護者会：乳児クラスは13時半～15時、幼児クラスは15時半～17時の予定です。
- 春のピクニックは幼児クラスのみとなります。お弁当をご用意下さい。詳細はクラスよりお知らせ致します。
- 園で使用する持ち物や洋服に名前の記名があるか、薄くなっていないかをご確認下さい。ご協力よろしくお願い致します。

May 5 2022						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 運動あそび	7
8	9 発育測定	10 危機管理訓練	11 音楽あそび	12 運動あそび 0歳児健診	13 春のピクニック	14
15	16	17 0・3歳児 保護者懇談会	18 1・4歳児 保護者懇談会 音楽あそび	19 2・5歳児 保護者懇談会 0歳児健診	20 避難訓練 運動あそび	21
22	23	24 お話びっくり箱	25 音楽あそび	26 運動あそび	27 誕生会	28 ファミリーデー
29	30	31				



これからの園づくり ～認定こども園へ向けて～

園長 山田寿江

幼児教育と児童福祉の実践と発展のため、認定こども園へ向けて法人として動きを進めています。こども園化は、国の施策とも合致しており社会的に妥当なことでもあります。すでに中野区では待機児が解消されており、より有益で充実した保育や教育を行うことが期待できます。

こども園では保護者の就労に関わらず希望する園児が入园することができ、地域の子育て世帯へ幅広く保育と教育を提供できるメリットもあります。これからの時代の園として、多様なニーズに対応し子どもたちの学びと成長を支えていきたいと思っています。

みんなでみていく子育て ～思い通りにならないのがあたりまえ～

新しい環境に少しずつ慣れてきた子どもたち。朝の涙も抱っこで安心顔、好きな遊びをみつけて友だちと笑顔を交わす姿もみられるようになりました。

復帰した職場で、居場所を見つけるまで大変さを感じるのは、大人も同じです。初めて我が子を預け、泣き声に後ろ髪をひかれつつ仕事へ向かう気持ちはいかばかりかと思えます。

子育てと仕事の両立は上手くいくことばかりではなく、悩まない子育てはありませんし、完ぺきな親はひとりもいません。先輩ママのさり気ない優しさや言葉に心が軽くなることもあり、助けとなる人が必ずいるものです。ひとりで頑張らず、楽しさも大変さも分かち合いながら一緒に子育ての道のりを歩んでいけたらいいですね。

子どもって「おもしろい」 ～みんなで育ち合う～

子どもにとって園生活は、家庭とは違う社会的な集団生活の場です。小さな赤ちゃんも友だちの存在を意識し、その子なりの表現で社会性を発揮しています。

「〇〇組になったから」「お兄さん（お姉さん）だから」など、より良くありたいと願う向上心も持っています。園で頑張っている分、お家では甘えて大暴れなんてこともあるでしょう。まずは、「そうだね、分かるよ」と共感することをお勧めします。おおらかに受け止めてみて下さい。きっと今の姿がこれからの力になって成長を感じられる時がくると思えます。

謙虚さが美德の日本では、我が子の自慢話は敬遠されがちですが、今月の保護者会懇談会では、ぜひ「ウチの子自慢」をして下さい。ありのままの自分が認められていると感じると、自分を好きになることができます。我が子の「キラキラ」を探してみましよう！

屋上園庭の新緑が、恵みの雨を受けてどんどん伸びています。ヒメリンゴの花も咲き、イチジクやビワも育っています。小さな赤ちゃんブドウも夏の頃には収穫できることでしょう。



【命をいただく】

給食展示コーナーに大きな夏みかんと玉ねぎが展示してありました。2歳児ふたりがその夏みかんと玉ねぎとを発見し、お互いに顔を見合わせてニヤリ。Aくんが玉ねぎをボールのように投げると、ほぼ同時にBさんも夏みかんを投げました。

私は「はっ」と声を出し、小走りで近づきました。

「投げたくなっちゃった？ボールみたいだもんねえ。でもね、これ投げていいかな？」

2人はしばらく沈黙。

そしてお互いの顔を見てニヤリ「やーだよー」と言ってケラケラ笑いました。

ちょうど2階から4歳児のSくんが降りて来ました。私は、Sくんを呼んで、2人が夏みかんと玉ねぎをボールのように投げたことを伝えました。Sくんは驚きながら「投げちゃダメだよ。だってね、投げるとね、ここがね、あのね、投げるとね、割れてね。」と、一生懸命言葉を探しながら、それは良くないことだと伝えてくれました。AくんもBちゃんもじっと動かず、真剣にSくんの話を聞いていました。

話し終わってSくんが去ると、Aくんは蚊の鳴くような小さな声で「やーだよー」と言いました。

2歳児はイヤイヤ期の真最中。子どもの主体性は大切ですが、何もかもやりたい放題は違います。食べ物を大切に、植物は生きていることを小さな頃から丁寧に伝えていきたいです。何故それがいけないことなのか、すぐには伝わらないことも多いですが、いろいろな人が繰り返し伝えることで、必ず思いが通じる時がきます。

3歳児のCくんは昨年まで見事なイヤイヤ期でした。お迎えの時には走ったり隠れたりあれこれ注文を付けて大声で泣き、ママを困らせていました。今年、幼児クラスになったCくん。別人のように2階からスタスタと降りて玄関で靴を履き替えて帰っていきます。来年の今頃は、AくんもBちゃんも同じように成長していることでしょう。

5歳のAさんがお米一粒ひと粒を丁寧に集めて食べています。

「あら、素敵ね、一粒も大切に食べるのね」と声をかけると「ママがね、お米は一粒でも生きているって言っていたよ」と言いました。

それを聞いたBくんが「お米は生きてないよ！」

Cさん「生きているよ！野菜も生きているよ！」

Dくん「そうだよ！ぬいぐるみだって生きてるんだよ！だから夜寝てから動いているんだよ！」



私たちが食べるものには命があり、その大切な命を頂いています。食べるものに感謝する気持ちを大人も子どもも持ち続けていきたいですね。

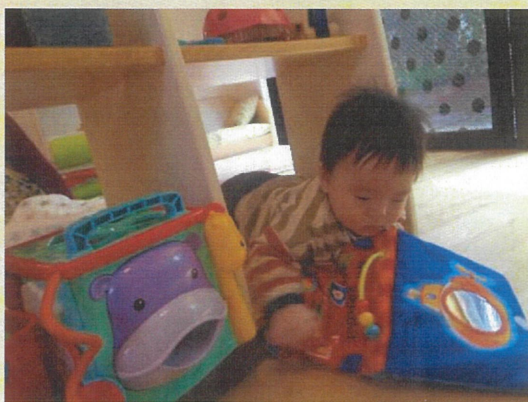
主任：黒木

※今月の園だよりは4月のクラスの様子をテーマにしています。

※今月の表紙の写真は光田先生の撮った1枚です。宮前公園にある木のしげみは、子どもだけが入れる特別な場所。トトロの森のようですね。

Atoo

たくさん泣いて、たくさん抱っこ
新しい環境や友達、保育士と今までとは違う
雰囲気にな不安でいっぱいでした。
毎日同じ先生と顔を合わせたり、お部屋で過ごしたり
する中で、安心できる場所やこれは何だろうと興味を
示していき、泣いて過ごす時間が少なくなってきました。
不安な時、優しく声を掛けられて抱っこされたり関り
を持たれたりする事で、自分の事を受け止めてくれる、
何かあった時に声を掛けてくれるという安心が生まれ
ます。信頼関係が出来てくると、いろいろな事に興味
が持てるようになっていきます。



これは何かな？ お外って気持ちいいね
すり這いやハイハイ、伝い歩きなど自分で自由に動き回れる
ようになり、部屋中を探索しています。
ソフトマットや棚の中など段差がある所の方が楽しいよう
で、グイッと手や足に力を入れ登ったり降りたりしながら
全身を動かして遊んでいます。
音の鳴る玩具や視界に入った物に手を伸ばします。何かな
～というように握ってみたり、口に入れてみたり何かにつ
つけてみるなどして、どんな物が知っていきます。
雨が降っていなければ、戸外活動も行っています。バギー
に乗る時は抱っこから降ろされたと思い、涙を見せる事が
多かったです。動き出すと室内とは違う開放的な雰囲気
に気持ち良くなり「あっ」と声を出したり、指さしたりす
る様子が見られます。又、気持ちよくなり、ウトウトする
事もあります。

Ato1



新しい先生、新しい友達

4月当初は“知っている先生”にこだわり続けていた子ども達でしたが、だんだんと新しい先生とも関わりを持つようになってきました。一緒に遊んだり、ごはんを食べる時に手伝ってもらったり、優しく声を掛けられ接してもらうことで安心感が生まれ、徐々に信頼関係が出来てきたのでしょうか。今では名前も覚えて「〇〇せんせい」と呼んですっかり仲良くなり、子ども達の方から手を繋いだり膝の上に座ったりして、甘える姿がたくさん見られるようになりました



そんなある日のこと、Aちゃんに「新しいお友達、わかる？」と何気なく聞いてみたところ、「うん」と答えるので、「おなまえ言える？」と尋ねてみると、「うん」とお返事。「Mちゃん」「Kくん」「Eちゃん」とお友達の方を見ながら次々と言えるAちゃん。保育者が呼んでいるのをよく聞いているのですね。

今まで一緒に過ごしてきた友達とも関係が深まり、関わりも多くなってきましたが、新しい友達とも仲良く遊ぶ子ども達です。

一年間、みんなで楽しく生活していきたいですね

Píco2

ちょっと待ってね

おやつの時間になると、手を洗った子ども達が自分のエプロンを取りに行っています。「先生やって。」と普段はエプロンを渡してくるのですが、この日は「やってあげる。」とAちゃんがHくんのエプロンを手に取りました。頑張るとめようとしているのですが、ボタンがうまくとめられない様子。時間がかかっているのにHくんは何一つ文句を言わずAちゃんがやりやすいようにじっとしていました。2人のやりとりからほんわかとした優しさが伝わってきました。



見つけた～！

園庭のすみっこに子ども達が好きな空間があります。小さな子どもしか入れない木の茂みで、中に入ると特別な気分になるようです。

「見つけた～」保育者が外から声をかけると満面の笑顔で応えてくれました。「先生も来て～」せっかくのお誘いですが、残念ながら保育者のサイズでは茂みの中に入れそうにありません。

その後も「見つけた～」と声を掛ける度にキャッキヤと笑っていました。

どうする？

公園に散歩に行った日のことです。MさんとYさんが綺麗に咲いている黄色い花を見ながら、なにやら話をしていました。「どうしたの？」と保育者が声をかけると……

「これ、取っていいの？」とMさんが聞いてきました。「うーん。取ったら枯れちゃうかな。」保育者が答えると、しばし沈黙の2人。「このままにしておく？」と聞いてみると、2人は「うん。」と声を揃えました。取らないことを選択した2人は、軽やかな足取りで広場に向かいました。



誕生日は特別な日！

4月生まれの子も達が3歳になりました。

誕生日の日は朝からウキウキわくわくの様子です。「バッチは？」「ハッピーバースデー歌って～」という言葉からも嬉しい気持ちが伝わってきます。「誕生日のお祝いをするよ。」と保育者が声をかけると、周りの子ども達もいそいそと席につきました。友だちの特別な日だと分かっているのですね！みんなでハッピーバースデーを歌うと、部屋中にハッピーな空気が広がります。素敵ですね。

ナノ組



～もう自分でできるよ！～

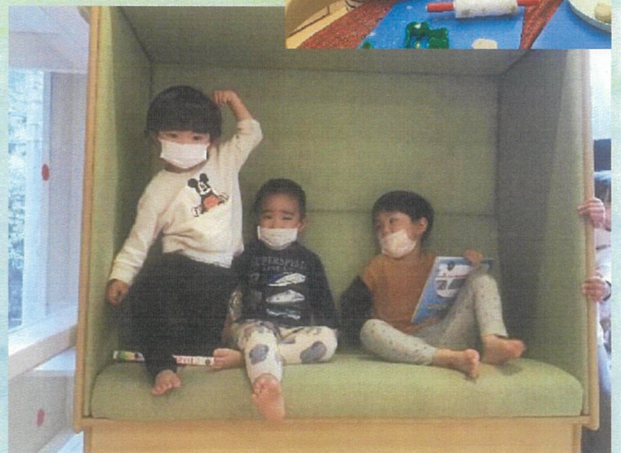
ピコ組さんの後半時期からいろんなことを自分で出来るようになっていた子ども達。さらに、2階で過ごす少し前から“ナノ組さんになるんだ”という期待感が高く、“自分でやりたい”という姿が多くなっていました。そんなみんながナノ組さんになり、今度は“自分でできるんだよ～”“やってあげるよ！”という姿に変わってきました。保育者が「助けて～」と言うとすぐに駆け寄ってきて手伝ったり取ってきてくれたりと、頼もしく、とても優しい子ども達です。もちろん、お友達が困っている時や涙を流している時にも「どうしたの？」と声をかけ、助けてくれたり心配してくれたり、周りの人への気配りが増えてきています。

壊しちゃってごめんね。
はい、どうぞ。



～お兄さんお姉さんみたいにやってみたいな～

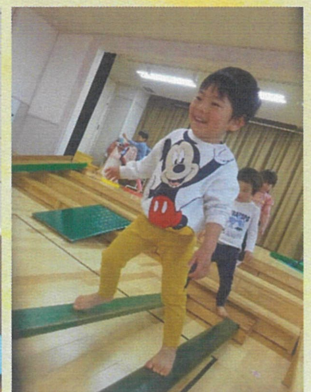
朝や夕方の時間は4歳5歳の部屋も行き来しながら好きな遊びを見つけています。新しく見る玩具や可愛い魅力的な人形などに興味津々な子ども達。初めて見る玩具やルールのある玩具は使い方が分かりませんが、保育者に聞いたり、お兄さんお姉さんが遊んでいる様子を見たりと、様々な方法で遊び方を覚えます。「どうやってやるの?」「え～すごい！」なんて声がたくさん聞こえてきます。また、オセロをすべて白面で並べていくというオリジナルの遊び方を発見している姿も！そして絵本コーナーの奥にある、PEACEルームの椅子が子ども達のお気に入りです。4人ほどで座れるので横一列に並んで座っている姿を見ると、いつもほっこりさせられます。階段がよく見えるので、「〇〇くんのママきた!」「〇〇先生～！」などと呼んでくれることもあります。ぜひ、気にしながら階段を昇り降りしてみてください。



Nano4

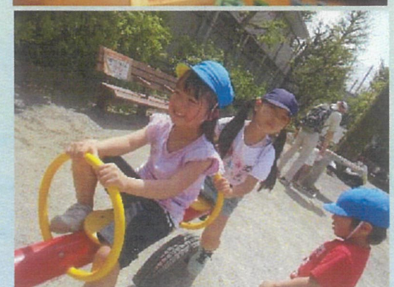
～朝のお集まり～

先月は、新しく4歳ナノ組に入ったお友だちがいたり、担任や部屋の環境が変わったことで、ワクワクしている様子が見られました。お仕度の仕方変わり、最初は聞きながらやっていましたが、今では自分たちで気が付いて出来るようになりました。進級したことで、自分たちより小さいお友だちが同じフロアにいる事を理解し、関わって遊ぶ姿も見られています。朝のお集まりでは、歌をうたうこと以外にお休みのお友だちを自分たちで確認します。今日は何日かな？何曜日かな？今日の活動で何をするのか話を聞き、時間が少し長くなっても聞く力がついてきているようです。



～異年齢での交流が増えたよ～

登園後はクラスの枠を超えて、3歳から5歳まで同じ部屋でコーナー活動をして、自分の好きな遊びをしています。お兄さんお姉さんに、出来ない事を手伝ってもらい「こうすれば出来るんだ」と新しい発見もしています。年下のお友だちが遊び方に困ってそうだな？お仕度に困ってそうだな？「助けてあげよう」と、手伝うことが「考える力」にも繋がっています。お散歩も、3歳や5歳と行くことが増え、保育士から、どうやって手を繋いだら良いのかを問われると、少し考えて「3歳と行く時はこっち」と、自分たちが車道側、5歳と行く時は壁側を歩く事を理解してきたようです。公園に着くと年上のお友だちがブランコを押してあげたり、年下のお友だちは押しってもらったりなどの関わる姿が多く見られます。異年齢の関わりを通してお互いに心が育っていったら嬉しいです。



ナノ5

一番大きいお兄さんお姉さん

年明けから少しずつ5歳ナノ組になることを意識してきて、3月の移行期ではすでに進級した気持ちになっていた子どもたち。4月に入り念願の年長さんになりました！異年齢での活動では4歳さん、3歳さんに対して優しく接したり、お世話をする姿が多く見られるようになってきました。異年齢でお散歩に行く際、今までは保育者が「ここに並ぼうね」「〇〇ちゃんと手を繋ごうね」と促していましたが、今では子ども達が率先して声を掛け誘導しています。公園までの道のりでは「5歳さんが外側歩くから〇〇ちゃんはこっち！」と手を繋ぎ直す姿も見られました。



4さいさん、
こっちだよ～！！

青空ランチ

ランチとおやつは1階のホールを使用しています。天気の良い日は扉を全開にして、心地よい風を感じたり青空を眺めたり、特別な時間を過ごしています。食事やおやつを食べ終わったあとは、「お当番さん」が片付けと掃除を手伝ってくれます。テーブルやパーテーションを拭いたり、イスを重ねたり、雑巾を洗ったりと率先して行っています。「おうちでやってるからできるよ」「ママのお手伝いしてるよ」と丁寧に拭いてくれます。



その日によってお手伝いに対して気持ちが乗らないこともあります。無理強いはずせすやりたい子どもたちが率先してお手伝いをしています。やりたくない理由を聞くと「やったことないから」と不安な気持ちを教えてくれました。すると、それを聞いていたお友だちが「私が教えてあげるよ」と言うと、安心した表情を見せました。当番活動は始まったばかりですが、すでに励まし合ったり、お友だちの苦手なことを得意な子がカバーし合ったりしています。当番活動を通して会話が弾み、友だちの気持ちを理解することで、関係が深まっています。

じゃあ秘密を教えるよ。とても簡単なことだ。ものごとはね、心で見なくてはよく見えないってこと。

いちばん大切なことは、目に見えないんだよ。 『星の王子さま』より
(アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ 作家・パイロット 1900～1944)



「目に見えないものを想う」

頬をくすぐる風が心地よく、日によっては初夏を思わせるような暑さもあり、当たり前のことですが季節は確実に夏に向かって歩みを進めていることを感じます。

ある日、5歳ナノ組のSさんがこんなことを話してくれました。

「なかのZEROの前を歩いていたらね、風がヒュ～ってふいてクルクルってなったんだよ」

Sさんがとても熱心に話してくれるので、クルクルした形が見えたのかを尋ねると「うん、見えたよ!」と興奮気味です。それじゃあその形を粘土でつくってみようかと『かぜのかたち』づくりは始まりました。

「冬の風は強いけど、春の風は弱いよ。前に夕方に見た風はクルルンクルルンってなった」と話しながら作り始めると、何をしてるの?と近くにいた子ども達も集まり話の輪が広がります。「私も見たことあるよ、キュ～クルクルってしてたの」と人差し指をクルクル回すHさん。「ポカポカの風もあるよね」とニッコリ笑顔のSさん。「風には真ん中に顔があるんだよ」とみんなをビックリさせるAくん。目に見えないと思って

いた風が様々な姿として語られ、私にも風のかたちが見えてくるから不思議です。さらに公園で行なった風をつかまえる遊びでも、子ども達はたっぴりと目に見えないものを感じていました。



世の中には、目に見えないけれど大切なものがたくさんあります。昨今の痛ましいニュースを見聞きする中で思う「平和」や、成長と共に子ども達から溢れ出る「気持ち」や「心」。

先日、5歳ナノ組の子ども達はベトナムの姉妹園の子ども達とzoomを使って交流をしました。その中でアルテの子ども達は『まあるいいのち』という歌を披露しました。

「みんな同じ 生きてるから 一人に一つずつ大切な命」

いのちはまるいの?とHさんに尋ねると「ん～それに限らないと

思う」そしてこう続けました「ベトナムとかは戦ってないけど、他に戦ってる国がある」と。隣にいたSくんは「いのちは二人だと思う、こうやって手をつなぐとふたつになる」と手を差し出しました。

21の『かぜのかたち』が生まれるなら、今度は子ども達の考える『いのちのかたち』を見せてほしいなあと思っています。(文責：一然)



(まけんだより)



新年度が始まり1ヶ月が経ちました。子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。一方でゴールデンウィークもあり連休が増えるため、生活リズムが乱れやすくなります。連休明け、体調を崩さないように気を付けましょう。

～ゴールデンウィーク明け、もう一度新型コロナウイルス対策を見直そう～

- 毎日、登園前にお子様の検温をしていますか？
- お子様にいつもと違った様子はありませんか？
発熱や咳込みがある場合は休んで様子を見てください
- ご家族も一緒に健康観察していますか？
ご家族に体調不良がある場合も登園を控え様子を見てください
- 発熱等がある場合は登園や出勤を控えていますか？
- 具合が悪い時は、早めに病院を受診していますか？
- お子様はマスク（不織布）を着用していますか？
- お子様は手洗い用のハンカチを携帯していますか？

※お子様が濃厚接触者に特定された場合、**お子様は感染者と最後に接触した日の翌日から原則7日間は自宅での健康観察期間**となり、登園はできません。

※お子様や、ご家族に新型コロナウイルス感染症の疑いがある方や検査の対象になった方がいた場合は、必ず園に連絡し、検査結果をお伝えください。

※ご家族が新型コロナウイルス感染症の検査を受けた場合は、検査結果が確認されるまで登園を控えてください。

○詳しい内容は掲示板にお知らせしている中野区からの通知をご覧ください。

5月の予定

発育測定	5月 9日(月)
0歳児健診	5月12日(木)
	5月19日(木)

Lunch & Snack time

食育だより

年度が始まって一ヶ月。0歳ナノ組さんは慣れ保育と合わせて一日2回の離乳食へと進んでいます。野菜スープ・かつお昆布出汁で仕上げた離乳食。「にんじんさん食べてみようか」「モグモグしようね」「上手にゴックンできたね！」と、一さじ毎に声を掛けながら一人ひとりの発達に合わせて進めています。

春の「旬」を体験しました

筍のあく抜き

筍のあく抜きの手順を5歳ナノ組が見学しました。「筍の中はどうなっているのかな?」「かぐや姫がいるんじゃない?」と、ほほえましい回答が。正解はなんでしょうね～



ツル豆の“さやむき”

おやつ時間に、同じフロアで「スナップエンドウ」のさやをむいていました。早く食べ終わった子どもが、「何してるの?」と興味深々。「やってみる?」と声を掛けると「うん!」と積極的。調理さんに教わりながらお手伝い。途中で切れてしまったり、実が折れしまったり...

翌日、アルテの畑の「さやえんどう」を収穫。さやをむくようにお願いすることに。昨日の経験が生かされたようで、とっても上手にむいて給食室に届けてくれました。「さやえんどうとスナップエンドウにってるね。」「どこがちがうんだろう?」「においは?」アルテの子ども達の探求心は続きます。



アルテの畑

「さやえんどう」がたくさん実りだしました。5歳ナノ組が収穫・さやむきしたものを塩ゆでにいただきました。0歳アト組のお部屋から「夏みかん」の木が見えます。GW明けが食べごろです。今年はジャムやお誕生日ケーキに添えて食べたいと思います。

5月 旬の食材

アスパラガス・春キャベツ・いちご・さやえんどう・グリーンピース・スナップエンドウ・そらまめ・にんじん・新じゃが・新たまねぎ・筍・かつお・甘夏

5月の行事食

5/2 (火) こどもの日お祝い 🇯🇵

[昼食] お赤飯・照り焼きハンバーグ・マカロニサラダ・春野菜の具たくさん汁
フルーツポンチ

[おやつ] いちごパイ

5/13 (金) 春のピクニック 🍷🍷

[昼食] おにぎり・卵焼き・鶏のから揚げ
茹で野菜のおかか和え・お花にんじん・りんご

※3・4・5歳は昼食時弁当持参

5/27 (金) お誕生日会 🍰

[昼食] 季節のおこわ(グリーンピース)
かつおの竜田揚げ、新じゃがサラダ、いちご

[おやつ] アルテみかんのケーキ(夏みかん)

